

次なる原動力は?

Sea Japan 2024

10日開幕

東京ビッグサイト

セミナープログラム (3月28日時点 一部抜粋)

国際海事セミナー		
主催	Sea Japan 2024 海事クラスター委員会	
会場	東3ホール (カンファレンスルーム)	
10:15 ～ 10:45	オープニング セレモニー	
10:45 ～ 11:35	シンガポールの脱炭素化 に向けた取り組みと、シン ガポール船主が目指す 将来像について	Singapore Shipping Association President Caroline Yang
11:35 ～ 12:25	中国造船業界における 新燃料開発の現状、実 績と展望	China Association of the National Shipbuilding Industry Secretary General Li YanQing
エンジニアリング協会セミナー 次世代を担う洋上風力発電の人材育成		
主催	エンジニアリング協会	
会場	東1ホール (セミナールーム1)	
15:10 ～ 15:50	洋上風力発電に関する 世界と日本の見通し	長崎大学 海洋未来イノベーション機構 コーディネーター 織田 洋一
15:50 ～ 16:20	洋上風力分野における 産業界と大学が一体と なった新たな大学教育 のしくみづくり	長崎大学 研究開発推進機構 機構長特別補佐 森田 孝明
16:20 ～ 16:40	長崎海洋アカデミーに おける人材育成の取組 み	長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 長崎海洋アカデミー 所長 中野 俊也
カーボンニュートラルポート (CNP) セミナー		
主催	日本海事新聞社	
会場	東1ホール (セミナールーム1)	
13:00 ～ 13:30	基調講演 カーボンニュートラル ポート (CNP) の形成に ついて	国土交通省 港湾局産業港湾課CNP推進室 CNP推進室長代理 伊藤 寛倫
13:30 ～ 14:00	招待講演 シンガポール港の脱炭 素化の取組	シンガポール海事港湾庁 マリンサービス シニア・ディレクター サミュエル・スー
14:00 ～ 14:30	ベルギー・フランダース の港における脱炭素化 の取り組みと展望	ベルギー・フランダース政府貿易投資局 日本事務所 日本事務所代表 ディルク・デルイベル
14:30 ～ 14:55	パネリスト ディスカッション オーシャンネットワーク イクスプレッション	パネリスト 執行役員 北村 幸一 東京都港湾局 港湾振興担当部長 三浦 知
14:55 ～ 15:55	パシフィックコンサルタンツ 国土基盤事業本部 港湾部 港湾計画室 技術課長 神野 竜之介 ゼロボード 事業開発本部 モビリティ事業部 物流グループ マネージャー 西川 史人 モデレーター 日本海事新聞社 編集局 編集局次長 岸 洋平	※敬称略



環境保護やDXのための新たなテクノロジーの課題に対応する製品・サービスが展示される (Sea Japan2022)

Sea Japanは1994年に横浜市で初開催し、今年で30周年を迎える。出展者数は2022年の前回比約71%増の約600社・団体。会場規模も約1.5倍に拡大し、最大規模での開催となる。海外からは30の国と地域が出席し、会期中は2万人の来場が見込まれている。

また、オフショア・港湾技術にフォーカスした「Offshore & Port Tech」の新設。

クリーンエネルギーに フォーカス 海の脱炭素 船の最新技術

シーマは「次なる原動力は？」。海事業界で注目される水素やアンモニア、液化天然ガス (LNG)、電気など、カーボンニュートラル (温室効果ガス排出量実質ゼロ) に向けたクリーンエネルギーにフォーカスした展示を行う。

「Sea Japan 2024」が4月10日から12日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟13ホールで開催される。主催はインフォ・イマージョニクスジャパン。同展は隔年で開催される国内最大級の海事産業の国際展示会で、国内外の造船や船舶向けの技術・製品が紹介される。開場時間は10時から17時まで。入場は招待券持参または事前登録者は無料。

講演・セミナー 出展社プレゼン80本 記念トークイベント

会期中の講演・セミナーは主催者企画セミナー、プライベートセミナー、出展社プレゼンテーションの3つに分かれている。主催者企画セミナーでは海事産業をリードする業界団体や企業が登壇する。

次世代燃料・デジタル変革 (DX)・人材育成など、業界が必要とする情報を多様なセミナーで展開する。海事だけでなく、海洋

・港湾技術にフォーカスしたセッションで最新技術や製品の情報も手に入る。10日10時45分から東3ホールのカンファレンスルームでSea Japan 2024 海事クラスター委員会が主催する「シンガポールの脱炭素化に向けた取り組みと、シンガポール船主が目指す将来像について」が行われる。同セミナーは脱炭素化を積極的に進めるシンガポールで行われているさまざまな燃料を使用したパンカリングの実証実験の状況や、シンガポールの船主が目指す船舶の将来像について講演を行う。

出展社プレゼンテーションは80本を超え、初出展でのプレゼンも多数開催される。発表会場は東1ホールと東3ホールに二つずつ、A・Dの会場が設けられ、

8社・団体が開発した海での検査・点検・調査に関する海洋機器を海中で実際に動かした (東京夢の島マリナー 23年11月)。

・点検・調査に
関係する
船の産業に
フォーカスし
船舶技術の
新たなビジネス
展開だけでなく、
他の産業
から技術導入を
探ることで
業界活性化を図る。
この新しい取
組みを記
念して、23年
11月に東京都
・点検・調査に
関係する
船の産業に
フォーカスし
船舶技術の
新たなビジネス
展開だけでなく、
他の産業
から技術導入を
探ることで
業界活性化を図る。
この新しい取
組みを記
念して、23年
11月に東京都

江東区の東京夢の島マリナーで水中・水上下ローンを遠隔操作型無人探査機 (ROV)、自律型無人探査機 (AUV)、小型無人ボートのデモイベント、「検査・点検・調査 Ocean Demonstration」を開催した。8社・団体が開発した海での検査・点検・調査に

12日 一般公開／船の内部も見学

12日10時から16時半まで (16時に受け付け終了) 東京ビッグサイト横の有明西ふ頭で、海上保安庁の測量船「平洋」が一般公開される。参加費は無料で事前登録は不要。業界関係者以外 (18歳未満を含む) も参加できる。

平洋は2020年1月に就役した。総トン数は4000トで、同庁最大級の測量船。主な任務は日本海や東シナ海などでの日本の海洋権益の確保に必要な海底地質を中心に調査する。

同庁初となる360度に任意の方向に推進力向けられるアジマススラスターを採用。位置や方位、動揺、気象・海象のデータから自動でプロペラの制御を行い、定点保持の能力が大きく向上したことで精密な海洋調査ができる。また、無人高機能観測装置 (US

V) を搭載しており、船舶で近づくことが危険な海底火山調査などを安全に実施できる。

マリアナ海溝の深さは約1万900mだが、装備するマルチビーム測深機は、最大深度1万1000mの海底地形を測定できるなど、さまざまな最新技術を搭載している。

22年の一般公開ではコロナ禍の影響で甲板上的のみを順路とした外観展示だったが、今回は船の内部も見学できる。船の操船や見張りを行う船橋や、各観測機器を制御する観測室のほか、順路にある居室や医務室を見学できる。

また、船外の順路上には、前回見学できなかったUSVやAUVの実物も展示しており、観測機器も間近



海保測量船
「平洋」

で見学できる。

船名の由来は海洋調査を通じて「平和な海、平穏な海を目指していく」という思いを込めて命名された。

ジャパンパビリオン 最先端の 研究・技術成果

海外展開できるような国が主導し官民が連携して取り組みを推進する。

「ジャパンパビリオン」が国内の船用技術製品やサービスを発表する。また、同パビリオン内では「テーマゾーン」を設けて最先端の研究・技術成果などを紹介する予定。

海外パビリオンは中国、韓国、オランダ、ドイツ、デンマーク、ノルウェー、英国、トルコ、ポーランド、米国の10カ国が出展する。この内トルコ、ポーランド、米国は初出展。

光と照明の専門メーカー

SHONAN

www.the-shonan.co.jp

ブース番号 2D-32

湘南工作所

湘南工作所は船舶用照明器具装置の専門メーカーとして創業約75年の歴史を持つ。

自社工場を持ち、設計・部品調達・加工・塗装・組み立て・梱包までを一気通貫に行えることが強み。これにより、顧客のあらゆるニーズに迅速かつ柔軟な対応が可能となっている。

同社の船舶海洋照明はこれまでに培われてきた技術と経験を生かし、高い防水性に加えて、耐振動、耐衝撃、耐食性に優れる。警備や救難などの活動を支え、大規模災害や、海洋を巡る安全保障の現場に必要な製品を開発する。これからも照明を通じ、過酷な環境で安全と安心を支援していく。

ネステック

ネステックは船舶用計測器、プラント機器や空調設備機器に欠かせない計器の製造と販売を手がける。視認性が良く、耐振性、耐久性にも優れた「ギャレス温度計 SEGTEMP (セグテンブ)」は、従来の水銀式温度計に代わり船用エンジンの排ガス温度監視用として、国内エンジンメーカーに多数採用されている。水銀温度計の置き換えとして使用できるため、メンテナンスやアフターのビジネスに販売を促進する。

また、従来型のデジタル温度計と温度センサーを一体化させた「SEG HYBRID」に加え、新燃料時代のニーズにあった「NESS DIGITAL HYBRID」を参考出品し、次世代型の製品を提案する。

SEGTEMP セグテンブ

脱水銀
MERCURY FREE

- 水銀温度計に代わる製品です。
- アルコール温度計への代替も可能です。
- 水銀を使用しておりませんので、環境に優しい温度計です。

超耐振
HIGH VIBRATION PROOF

振動型・Case & movement

- 船舶用製品金具に要求される耐振ノウハウを具した構造です。

スチーム部・Stem

- スチーム内部に設置用の光検物を納入。

長寿命
LONG LIFE

・構造の強度が高いため、電圧は不要です。

・電圧変動等のメンテナンスは不要です。

NESS
ネステック株式会社

SEGTEMPは、弊社の登録商標です (登録番号第5532842号)

水銀温度計の置き換えに最適!

シップリサイクル条約、 水銀水俣条約対策に!

- 非水銀で各種規制をクリア
- ギャレスの耐振構造
- 電源不要のアナログ表示

詳しいお問い合わせは下記まで!

本社営業部 TEL 047-453-5502
FAX 047-453-1181
〒275-0024 千葉県習志野市茜浜1-12-1

国際営業部 TEL 047-453-6555
FAX 047-453-1181
e-mail global.sales@nesstech.co.jp

関西営業部 TEL 06-6539-5656
FAX 06-6539-5858

NESS
ネステック株式会社
FIT FOR USE
www.nesstech.co.jp

SEGTEMP-HYBRID セグテンブ・ハイブリッド

・製品概要

「SEGTEMP-HYBRID」はダイヤル温度計と温度センサーを一体化させた製品です。

船舶用ディーゼルエンジンの温度計測用に特化し開発されました。

測定箇所を同一にする事で、現場指示値と油質管理の測定温度差を解消します。

ディーゼルエンジンの各スペースに搭載出来る製品です。

ダイヤル温度計はギャレス構造であり、非水銀化を実現しております。

MODEL : SEGTEMP50-HC
SEGTEMP50-HR

MODEL : SEGTEMP75-HC
SEGTEMP75-HR

ネステック株式会社

小間番号 2H-42

有力企業の製品・技術

ページ